

特集：大学説明会

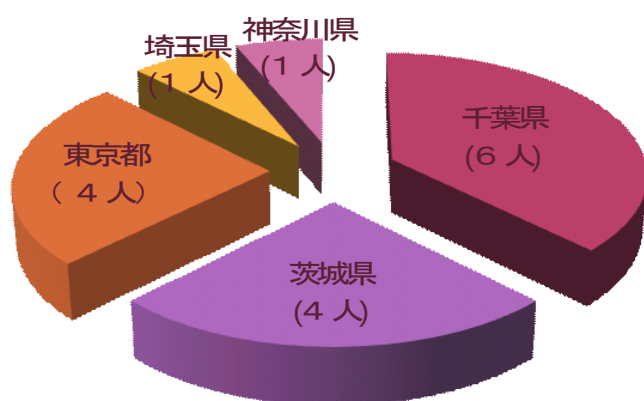
学生による大学説明 ―自宅通学について―

齋藤 史織（筑波大学 生物学類 1 年）

みなさん、こんにちは。生物学類 1 年の齋藤史織です。今日私からは学生生活紹介のうち自宅通学についてお話しさせていただきます。

筑波大学では自宅から通っている学生は、他の大学とは異なりとても少数です。生物学類でも現在 1 年生は約 80 人ほどいますが、そのうち約 2 割ほどの 17 人が毎日自宅から大学まで通っています。残り 8 割の学生は校内にある宿舎や大学周辺のアパートに住んでいます。そんな少数派の自宅通学者ですが、5 年前につくばエクスプレス線が開通してからはその数もどんどん増えてきています。自宅通学者は主に千葉県や茨城県、東京都など関東圏内に住んでいます。しかし中には神奈川県から約 2 時間半～3 時間かけて通っている人もいます…。

～生物学類 1 年の自宅通学者の住所～



自宅通学者の大半の交通手段は電車です。筑波大学の最寄駅であるつくば駅までつくばエクスプレス線に通っています。また、つくば駅からキャンパス内までは路線バスを利用しています。その他に茨城県内に住む人の中にはバスのみで通っている人もいます。さらに少数派ではありますが、入学前に免許を取得し、自家用車やバイクを運転して通学している人たちもいます。

ここからは具体的に自宅通学をしている私個人の生活を紹介します。私は千葉県の松戸市というところに住んでいます。最寄の駅には武蔵野線が通っているのですから南流山駅というところで乗換えを 1 回してつくばエクスプレス線に乗って毎日かよっています。南流山駅からは快速に乗ると 20 分ほどでつくば駅まで来ることができます。このつくばエクスプレス線は皆さん

もご存知のように秋葉原から通っています。都内に住んでいる友達の多くは北千住から乗ってきていますが、そこからも快速で 30 分ほどでつくばにつくことができるというとても便利で早い線です。つくば駅からは先ほども少し話しましたが、校内循環バスが走っているのそれに乗ってキャンパス内までできています。



校内循環バスには定期券があり、入学すると年間¥4200 で学生証に張るシールを購入することができます。例えば生物学類の最寄のバス停である大学中央まではつくばセンターから片道 ¥260 なので、このバス定期は約 8 回分の運賃で 1 年間乗り放題ということになります。ですからとてもお得です。

乗り換えも含めると私は毎日約 1 時間 30 分ほどで通うことができます。私の地元では都内の大学に 2 時間ほどかけて通うことは普通なので、筑波大学までは距離があるように思えても実際にはそれほど時間をかけずに他大学と変わらない程度の時間で通うことができます。

通学の仕方や時間に関しては以上ですが、実際に 1 日の生活はどのようなサイクルなのかについて話したいと思います。まず、私は毎朝 5:30 に起床しています。これはちょっと早いかな…と思っています。正直つらいときもあります。この時間に起きれば 1 限開始である 8:40 までにキャンパス内に着くことができます。実際にはもう少し遅い電車でも間に合うのですが、電車が遅れたり、バスが混んでいて乗れないことがあるのでなるべく早め早めに行動するように心がけています。6 限が終わるのが午後 6:00 なので帰宅すると早くても 8:00 くらいになってしまいます。それから晩ご飯を食べたりして、9:00 頃からは翌日提出しなくてはならない課題やその週に行った実験のレポートなどの作成をしています。翌朝起きる時間が早いのでなるべく 12:00 頃には寝るようにしています。ただ、サークル活動や文化祭など行事の準備、また実験の延長があるとどうしても 11:00 過ぎに家に帰ることもあるのが現実です。忙しいですが、毎日充実した生活を送っています。

ここまで長々と自宅通学について説明してきましたが、最後に自宅通学のメリットとデメリットについて話したいと思います。まず、最大のメリットは生活費が余分にかからないことです。一

人暮らしをすると光熱費や食費など、どうしても経済的に多くの負担がかかってしまいます。その分自宅から通うなら交通費はなかったとしても比較的支出を抑えることができます。また、私は大学に入ってから規則正しい習慣が身につきました。どうしても朝早く起きなければいけなくなってしまうので、夜もそのために早く寝ようになります。また、提出物などもぎりぎりでは絶対に間に合わないので前もって終わらすようにもなりました。さらに地元の県立図書館を使えることもメリットです。筑波大学の図書館には多くの資料がありますが、同じ学類の人たちが同じ時期に同じ実験を行うので参考文献が借りられないことが多くあります。でも、地元の図書館なら自分の使いたい資料をほとんど借りることができるのでとても助かっています。反対にデメリットに関しては、通学に時間がかかることやあまりに帰りが遅くなってしまうと終電を逃してしまうことが挙げられます。特につくばエクスプレスの終電は他の線と比べて早いので夜遅くなる日はなかなか大変です。それでそんな時には宿舎やアパートに住んでいる友達にお願いして泊まらせてもらっています。

これで自宅通学についての説明は終わります。筑波大学は関東圏内に住んでいる人であれば決して通えない距離ではありません。筑波大学は自宅から通うのはちょっと厳しそう…と思っておられる方もいらっしゃるかもしれませんが、今回の説明が自宅通学をするか宿舎やアパートに住むかどうか、あるいは筑波大学を受験するかどうかの参考になれば幸いです。生物学類は充実した勉強内容に加え、生徒同士がとても仲がよくさまざまなイベントがあるので楽しい大学生活を送ることができます。ぜひ生物学類にきてください。心よりお待ちしております。ご静聴ありがとうございました。

Communicated by Takeo Hama, Received August 27, 2010.



生物学類への入学
心よりお待ちしております。

